

第23回 アストロトーク

講演 13:30 - 14:30

『クリスマスはいつ?』

～ベツレヘムの星の正体は～

京都情報大学院大学 作花一志 氏

4次元宇宙シアター 14:45 - 15:30

『3Dメガネでみる宇宙のすがた』

～金星と探査機「あかつき」～

京都大学宇宙総合学研究ユニット 樋本隆太 氏

2015年12月6日(日) 13:30 - 15:30 (受付13:15から)

開催場所: 京都大学総合博物館[百万遍下ル] 3階講演室

参加条件 : 小学生以上(小学生は保護者同伴)

参加費資料代 : 小中学生500円、一般(高校生以上)1,000円

申込方法 12月1日(火) 申込み〆切

インターネットの場合は <http://www.tenmon.org/>

お電話の場合は 075-823-3640 (10:00-18:00 受付)

株式会社ビューティフルツアー (担当:岡本)

別途、博物館の入館料が必要です。

小中学生200円、

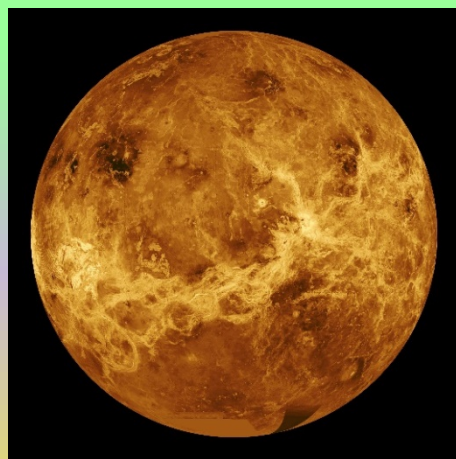
高校大学生300円、

一般400円

身体障害者手帳をお持ちの方、70歳以上の方は入館料無料(年齢確認ができるものをご提示ください。)



ジョット『東方三博士の礼拝』



金星の姿

(NASA/JPL-Caltech 提供)

主催 認定NPO法人花山星空ネットワーク

共催 京都大学総合博物館、京都大学大学院理学研究科附属天文台

後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会

協力 株式会社ビューティフルツアー、株式会社ヒーロー

<http://www.tenmon.org> (京都千年天文学街道ホームページ)



● アストロトークの概要

- **講演の概要:** 新約聖書にはイエスの生まれた夜に明るい星が現れたことが載っていますが、その正体は何でしょうか。古来さまざまな説が飛び交っていますが、それらの概要を説明し、新しいひとつの可能性を紹介します。それによるとクリスマスは夏になってしまいます。
- **4次元宇宙シアターの概要:** 国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト提供の Mitaka を使用し、3Dメガネをかけて最新天文学に基づく宇宙のすがたを見ましょう。太陽や太陽系、天の川銀河から宇宙の地平線まで触れていきますが、今回は日本の金星探査機「あかつき」が軌道投入に再チャレンジする金星とその探査の歴史について説明します。

● 講演者紹介



作花 一志 (京都情報大学院大学): 講演担当

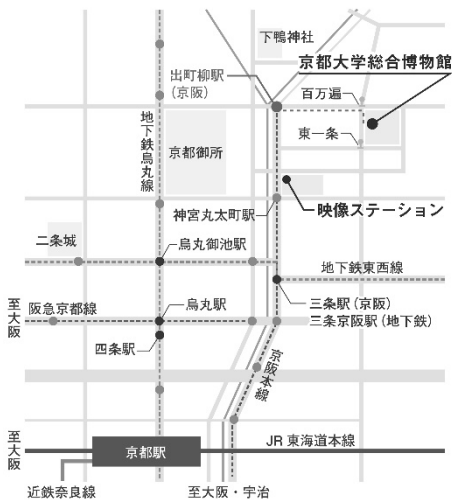
- 専門は古天文学。歴史に残された天文記事を計算で再現し天変と言われた現象や過去から未来の惑星直列や小惑星ニアミスなどを調べている。また、天文教育普及研究会にて編集委員長を長く務めた。著書「天文学入門」(オーム社)「歴史を揺るがした星々」「天変の解読者たち」(恒星社厚生閣)など。



樋本 隆太 (京都大学宇宙総合学研究ユニット): 4次元宇宙シアター担当

- 業務では衛星画像の一般利用促進に関する研究の技術補佐を担当。宇宙開発を中心に科学技術コミュニケーションについて関心を持ち、サイエンスデータを活用した天文台でのアートイベントの企画なども行っている。

■ 京都大学総合博物館への行き方



総合博物館周辺の地図



■ 京都市バスをご利用の場合
 JR/ 近鉄京都駅から17,206 系統
 阪急河原町駅から3,17,31,201 系統
 地下鉄烏丸線今出川駅から201,203 系統
 地下鉄東西線東山駅から31,201,206 系統
 百万遍(ひやくまんべん) 停留所で下車徒歩約2分

■ 京阪電鉄をご利用の場合
 京阪本線“出町柳(でまちやなぎ)” 駅で下車、今出川通りを東進し、百万遍(ひやくまんべん) 交差点を南に折れてすぐ(出町柳駅から徒歩15分)

京都千年天文学街道では、陰陽師・安倍晴明ら天文博士による平安時代の天文観測と現代天文学の繋がりや、江戸時代の日本独自初の暦作成など、天文学を歴史的な視点からひもとくまち歩きツアーも開催しております。詳しくは、京都千年天文学街道のチラシ、またはホームページをご覧ください。



京都千年天文学街道ホームページ

<http://www.tenmon.org>

QRコード(携帯電話など)→

